

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座 講師
氏名 Name	岡田 友和
専門分野 Academic Field	フランス近現代史

主たる研究テーマ Principal Research Subject	フランス植民地主義の系譜と実態にかんする研究
<p>①科研費研究課題「フランスとベトナムの「国民国家」形成に関する研究—インドシナの労働政策をめぐって—」（若手研究B）では、20世紀前半期のフランスによるインドシナ植民地支配の政治的・法制度的な要因の把握を試みた。とくに両大戦間期のインドシナ総督をめぐる人的関係に焦点を当てて、本国で活動する政治家とインドシナに赴任する官僚もしくは政治家のあいだに形成されていた主要なグループとそれとは別のグループの存在に着目し、これらの分類を試みつつ、これらに関連する史料をフランス国立海外領文書館において調査・収集してきた。フランスがどのような国家モデルを描いて、どのような「植民地国家」をインドシナに建設しようとしたのか、本年度は本研究の基礎をつくる作業に従事した。</p> <p>②19世紀末の政治家ジュール・フェリーが行なった植民地政策とその歴史的意味について、同時代の史料と二次文献を利用しながら考察する研究計画については、関連する二次文献を精読しながら、まずフェリーの植民地政策に対する立場や考えの把握に努めた。19世紀末以降のフランスの植民地拡張とフェリーの存在が密接な関係にあることを再確認した。本研究は、20世紀前半期のフランス本国とその植民地の関係を多角的に明らかにしようとするさいに、とりわけ本国側の立場や考えを明らかにしてくれる。</p> <p>③科研費研究課題「植民地国家建設の比較研究—国家と情報の関係に焦点を当てて—」（基盤研究 B、研究代表者・鬼丸武士）では、仏領インドシナにおける警察組織とその役割に焦点を当てた。今年度は、とくにその警察の基本的な組織構造と目的を把握する作業に努めた。関連する情報を二次文献や同時代の刊行物、フランス国立海外文書館における一次史料の調査によって得ることができた。</p>	